



「気候予測データセット2022」の更新等に向けて

令和6年2月9日

文部科学省研究開発局

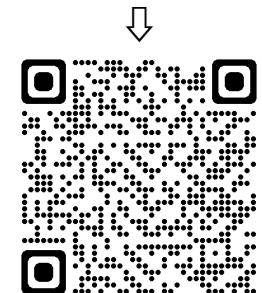
気候予測データセット2022 (DS2022) について

- **令和4年(2022年)12月**に、本懇談会での検討等を踏まえ、地方公共団体や民間企業等における気候変動対策を積極的に支援するため、**国内で創出された気候変動適応に資する予測データ**を取りまとめ、「**気候予測データセット2022**」として、**ウェブサイトにて公表**。
- 効果的な予測データの利用に向けて、予測データの特徴、不確実性等を適切に把握できるように、**データセットの内容、利用上の注意点等をまとめた解説書及び用語集**もあわせて公表。
- 環境省にて概ね5年ごとに実施される「気候変動影響評価」において中心的な気候予測シナリオとして活用されることを目指し、「**気候変動影響評価**」に合わせて**新しいデータセットを公表していく予定(次回は2027年頃)**。
- 次回のデータセット公表に向け、「気候変動予測先端研究プログラム」において、**データの更なる高解像度化や近未来実験、連続実験等による多様な時間スケールのデータ創出**を進めている。

DS2022ウェブサイト



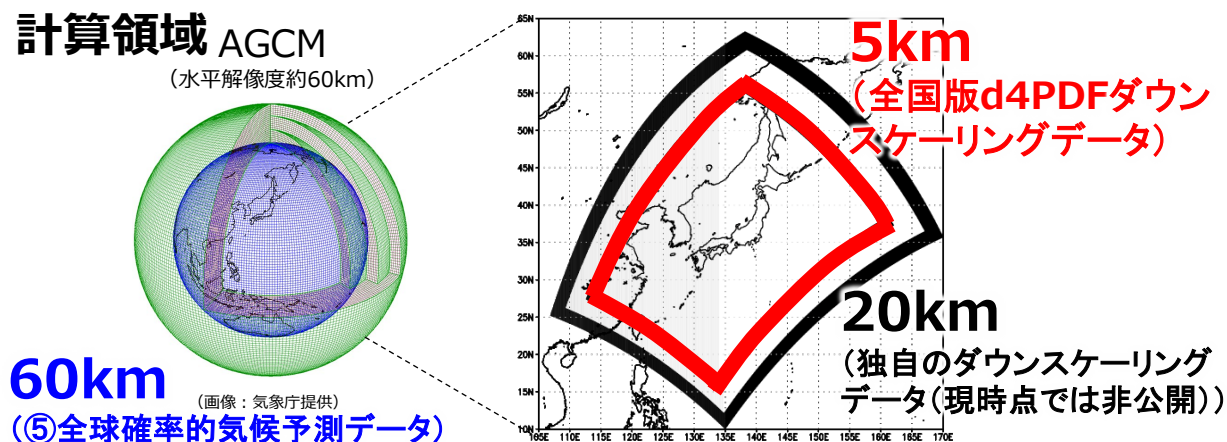
気候予測データセット2022への
リンクはこちら



<https://diasjp.net/ds2022/>

DS2022の更新について①

- DS2022の「**⑤全球及び日本域確率的気候予測データ（d4PDFシリーズ）**」をダウンスケーリングしたデータとして、令和5年12月に、北海道域・本州域をカバーする「**全国5kmメッシュアンサンブル気候予測データ**」（以降、「**全国版d4PDFダウンスケーリングデータ**」）を公表。



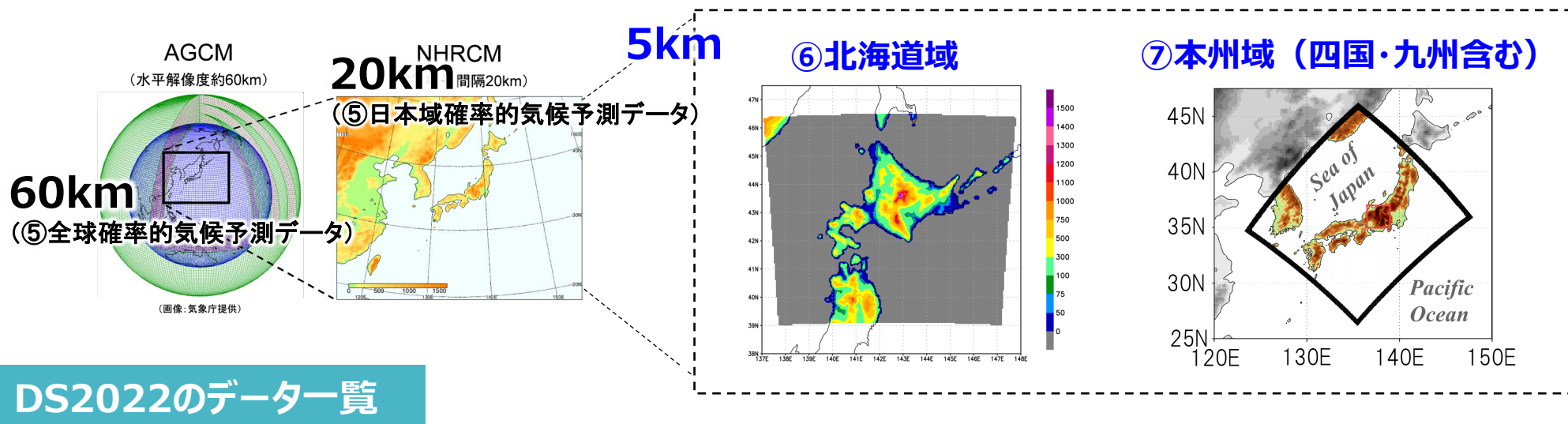
DS2022のデータ一覧

- | | |
|--|--------------------------|
| ① 全球及び日本域気候予測データ | ⑧ 日本域台風予測データ |
| ② 日本域気候予測データ | ⑨ 全球d4PDF台風トラックデータ |
| ③ マルチシナリオ・マルチ物理予測データ | ⑩ 日本域d4PDF低気圧データ |
| ④ 全球及び日本域150年連続実験データ | ⑪ 日本域農研機構データ (NARO2017) |
| ⑤ 全球及び日本域確率的気候予測データ (d4PDFシリーズ) | ⑫ 日本域CMIP5データ (NIES2019) |
| ⑥ 北海道域d4PDFダウンスケーリングデータ | ⑬ 日本域CMIP6データ (NIES2020) |
| ⑦ 本州域d4PDFダウンスケーリングデータ | ⑭ 日本域海洋予測データ |
| | ⑮ 全球及び日本域波浪予測データ |

DS2022の更新について②

○ DS2022には、既に「⑤全球及び日本域確率的気候予測データ（d4PDFシリーズ）」をダウンスケーリングした5km解像度のデータとして、以下のデータが収録されている。

- ⑥北海道域d4PDFダウンスケーリングデータ
- ⑦本州域d4PDFダウンスケーリングデータ



DS2022のデータ一覧

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ① 全球及び日本域気候予測データ | ⑧ 日本域台風予測データ |
| ② 日本域気候予測データ | ⑨ 全球d4PDF台風トラックデータ |
| ③ マルチシナリオ・マルチ物理予測データ | ⑩ 日本域d4PDF低気圧データ |
| ④ 全球及び日本域150年連続実験データ | ⑪ 日本域農研機構データ (NARO2017) |
| ⑤ 全球及び日本域確率的気候予測データ (d4PDFシリーズ) | ⑫ 日本域CMIP5データ (NIES2019) |
| ⑥ 北海道域d4PDFダウンスケーリングデータ | ⑬ 日本域CMIP6データ (NIES2020) |
| ⑦ 本州域d4PDFダウンスケーリングデータ | ⑭ 日本域海洋予測データ |
| | ⑮ 全球及び日本域波浪予測データ |

DS2022に追加するデータ

⑯全国版d4PDFダウンスケーリングデータ（全国5kmメッシュアンサンブル気候予測データ）

- 北海道域・本州域を含む日本全国を対象として、各気候で計732年の計算を行った5km解像度データ。
- **日本全国の将来気候を一律の設定で評価可能。**
(農林水産省や国土交通省の取組において活用を検討中)

DS2022に既存の関連データ

⑦本州域d4PDFダウンスケーリングデータ

- 東北から九州を対象として、各気候で計372年の計算を行った5km解像度データ。
※地形（5km格子内で最も高い標高を抽出or平均標高を用いる）や海氷の取扱い等の実験設定で⑯全国版d4PDFデータと異なる点がある。
- 全国版d4PDFデータより狭い領域が対象となっているが、これまでの利用者等により引き続き活用され得るデータ。

⑥北海道域d4PDFダウンスケーリングデータ

- 他2つのデータのように年間を通して毎日計算するのではなく、各年の6月1日から11月30日までの間に発生した北海道の十勝川流域の大雨イベントを含む15日間を対象に計算した、合計数千年分におよぶ大雨時の5km解像度データ。
- 北海道域の大雨イベントを対象とする場合は、⑦本州域d4PDFデータや⑯全国版d4PDFデータよりも詳細な分析をすることが可能。